



ファナティック

ADULTS ONLY



えっ…？



アイシス！
こらっ！
大切な同盟国の王女様だぞ！
そのような顔をしたら
失礼ではないか…！

うわあ…
赤ちゃんでも
ないのに…

最低…っ



ウソでしょ…
なによあれ…



同盟国である我がエーデルランドへ
より一層の同盟強化を訴えに
お越しになられたのだ

夫である国王陛下をはやり病で
亡くし、国内の情勢が不安定に
なられたそうだな…



これはリュート国王が
お決めになられたことだ
不服か？

え…っ
リュートが…



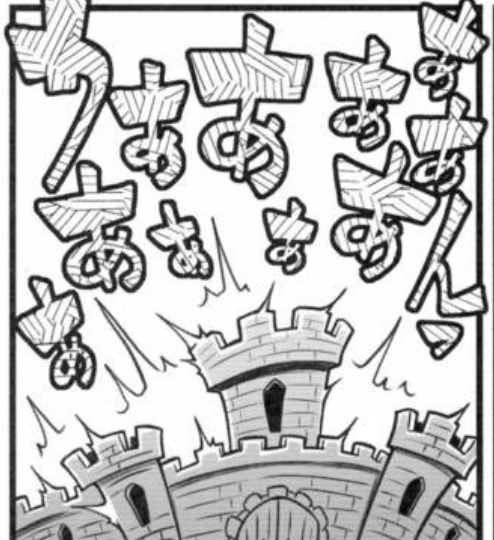
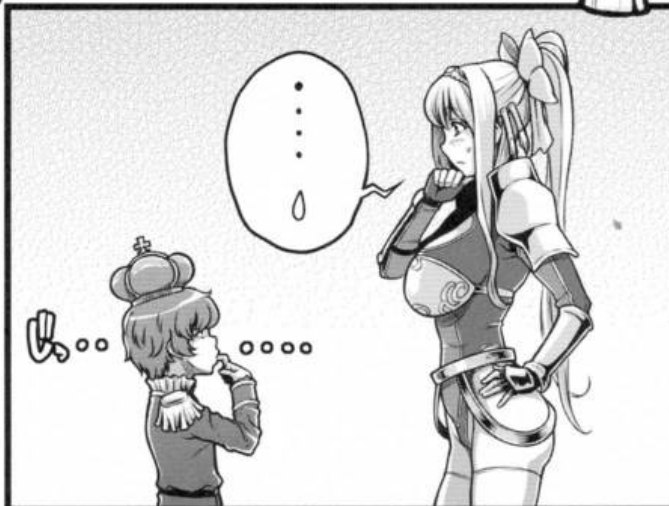
こら！アイシス！
聞いておるのか？
あ、はい…
まったく…

そこでだ…
王女様が御公務を行う間
おまえに王子のお世話を
頼みたいのだ

お待ち
ください…
なぜ親衛隊の私が？
護衛ならまだしも…
そんな子守のような…

え…？

無事エーデルランドの国王となった
リュートだったが、アイシスとは
結婚せずに他の女性達と結婚して
しまった…
妻同然の扱いを受けていたアイシス
だったが、やはりどこかに不満を
抱えながら、それでもリュートの
そばにいたくて、親衛隊として
日々を過ごしていた…





ちよっ…

なんて声

出すのよ…!

静かに

しなさい!

やだやだやだ!

おっばいくなきや

もつと大声出しちゃうよ!

お姉ちゃんに酷いこと

されたって叫んでやる…!

たすけてーっ!

お姉ちゃんに殺されるー!

わかった…っ

わかったから…!

おっばいあげるから…
おとなしくしなさい!

ホント?

カキ



うっ…

まったく…

なんで私が
こんなことを…

ほら…っ

おっばいは
恥ずかしいから…

リユート以外には
見せたくないのに…

これで
いいんですよ…!

カキ
カキ
カキ



あった！
あった！

奥のほうで
硬くなってる！



うわ…

結構深いな…

どんだん
指が入って…



これは…

ほじって
探さないで…



あ…



口で吸い出せば
顔出すかな？



ああ…



うわあ…
だ、だめ…

普段隠れてて
凄く敏感なのに…
そんな強く…



んっ



でた〜！

お姉ちゃんの
勃起乳首！

顔出すと結構
デカいんだね！

ほらあ
お姉ちゃんも
ちゃんと見てよ

ああ…

いやあ…



も、もお…
十分でしょ…

なに言ってるのさ
やっとお姉ちゃんの
乳首が顔出したのにな

これからもっと
その乳首を堪能させて
もらうんだからさ

ほら！

早く鎧をはずして
こっちに来て
ベッドに横になって！

えっ…

これで
お終いに…



ダメだよ！
勝手に勃起させちゃ！



まだ穴乳首
楽しんでる
んだから！

お願い…
いじわるしないで
こっちも勃起
させて…

なんだよ、嫌がったり
今度は勃起させてって
言ってみたり…
わがままだなあ…

なんか勘違いしてない？
お姉ちゃんが王子である
ボクにご奉仕しないと
いけない立場なんだよ

勃起してるのは
お姉ちゃんの乳首
だけじゃないんだよ

ボクのおちんちん
だってほら！



次はお姉ちゃんが
ボクを気持ちよく
させてよ

ただしお姉ちゃんが
ボクにご奉仕する
場所はこっち

お姉ちゃんの
オマンコ！

えっ…

セックスだよ





世に
いやももも



ね？

ねっ、
だからお姉ちゃんも
ボクとセックスして
ボクの赤ちゃん
孕んでさ
お姫様になろうよ

ぜっ…

ボクの母上だつて
今頃この王様と
寝ているよ！
だつてその為に
この国に来たん
だもん！



おとなしくしてたら
いいきになって…！

誰があんたみたいなのと
するもんですか…！

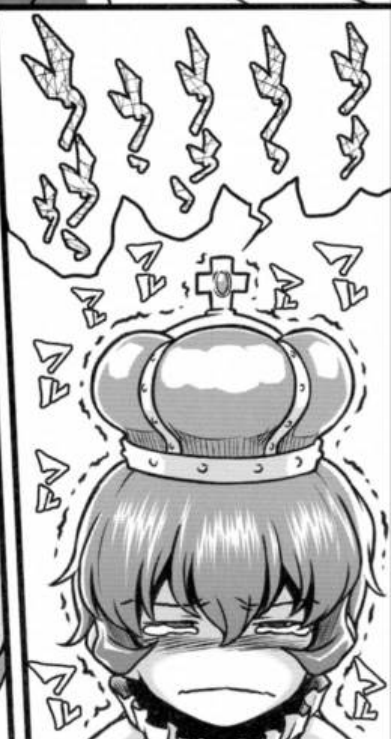
絶対にイヤ…っ！

ま

バツカじゃないの…！



うわぁ…





見えないわね...

確かに...
これで引き下がる
ようには...



大声だして
言うこと聞かせ
ようとしても...

そうはいかない
んだから...!



え...

わかったわ...
ただセックスは
ダメ!



ふざけるな!
王子のボクに
こんなことして
タダで済むと
思うなよ...!

ふっ...!



その代わり...

これで我慢して...

ズキッ♡

ズキッ♡

ズキッ♡

王子の行動は
どんどんエスカレート
して行き...

ダメよ...

そこは
触っちゃ...っ

オマンコはダメ
だけど、喉でなら
セックスしても
いいよね?

触るだけだから
いいでしょ?

すごいよ
お姉ちゃん!
指とお口で
セックスしてる
みたいだ!

いい...?
指だけよ...!
指以外は...
入れちゃ...

ダメだから...っ
お姉さま♡

それでもリユートへの
忠誠と想いから、最後の
一線だけは守っていた...





お姉ちゃんがお嫁さんになるって決心するまで...

ボク諦めないからね!

こんな...

でも...

こんなこと...

いけないわ...!

いつまでも 続けていたら...

開けますね...

王様

王様...?

ねえ...?

リュートいる?

王子のお守りを 変えてもらえるように リュートに頼んでみよう...

クワッ

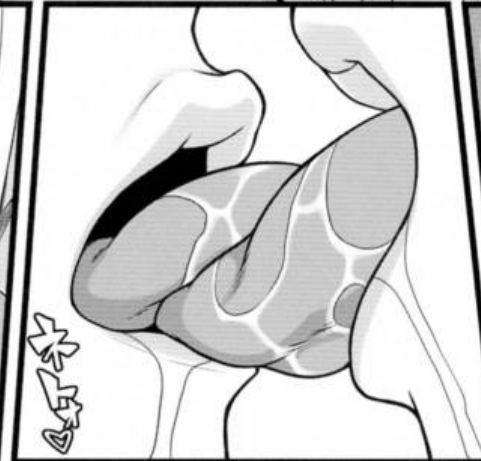
クワッ

クワッ

ズン

クワッ

クワッ



ずっと
ずっと...

これが欲しかった
んだよね...?

んんん...

んんん...

んんん...

お姉ちゃん...?

んんん...

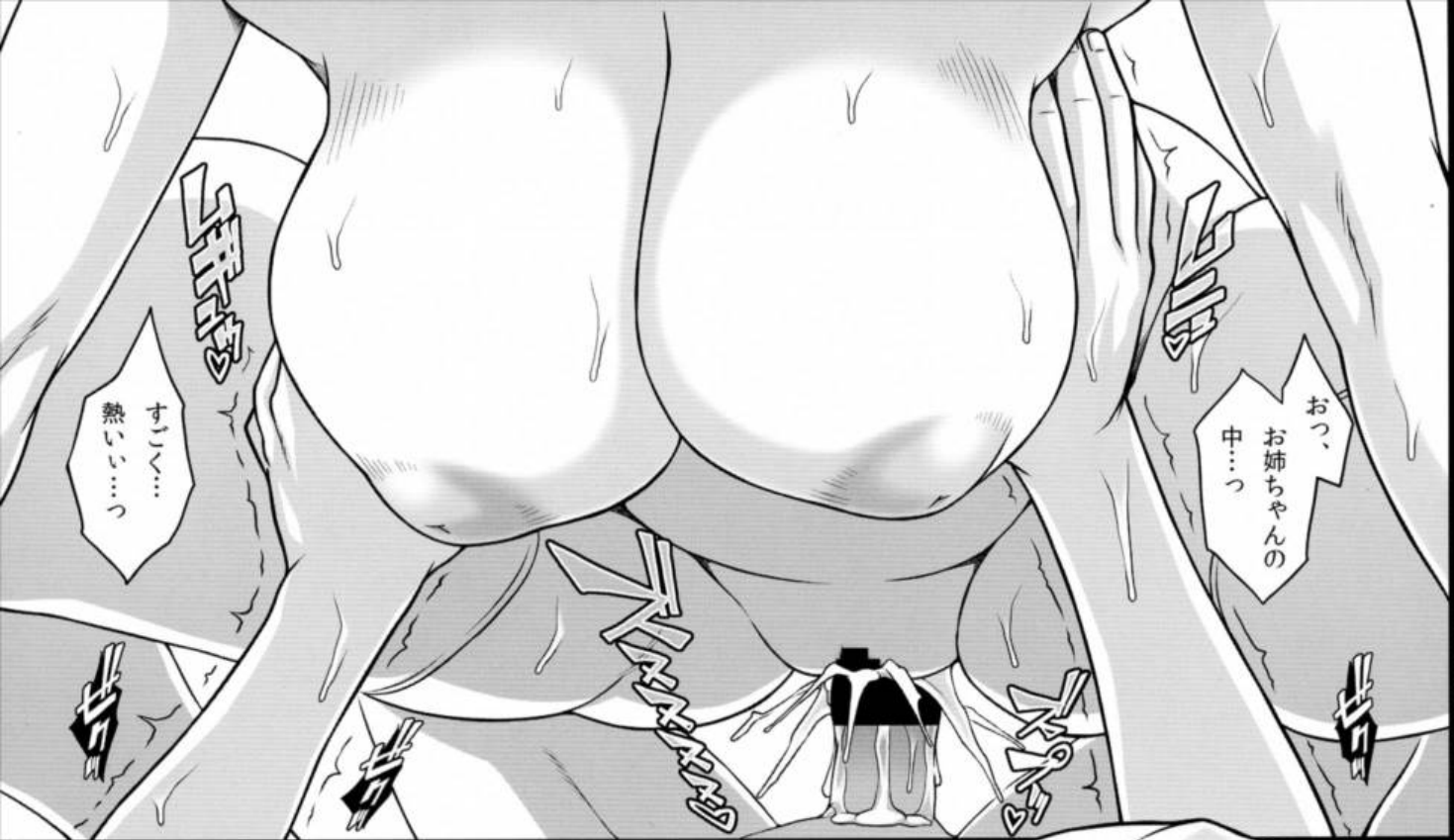
おっ...

んんん...

今日は私の中に...

いれてあげる♡





す〜へ〜…
熱い…

おっ、
お姉ちゃんの中…っ

ポ、ボク…
生意気なこと
言っただけど…

これだけはさせて
くれなかったんだ…

母上も侍女達も…
おっぱいはくれたけど…

ホントは…
初めてなんだ…っ

知ってたよ♡

うん♡





乳首...
乳首...

乳首...
乳首...

乳首...
乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...

乳首...



見てえ♡
恥ずかしい乳首、自分で
勃起させちゃったあ♡

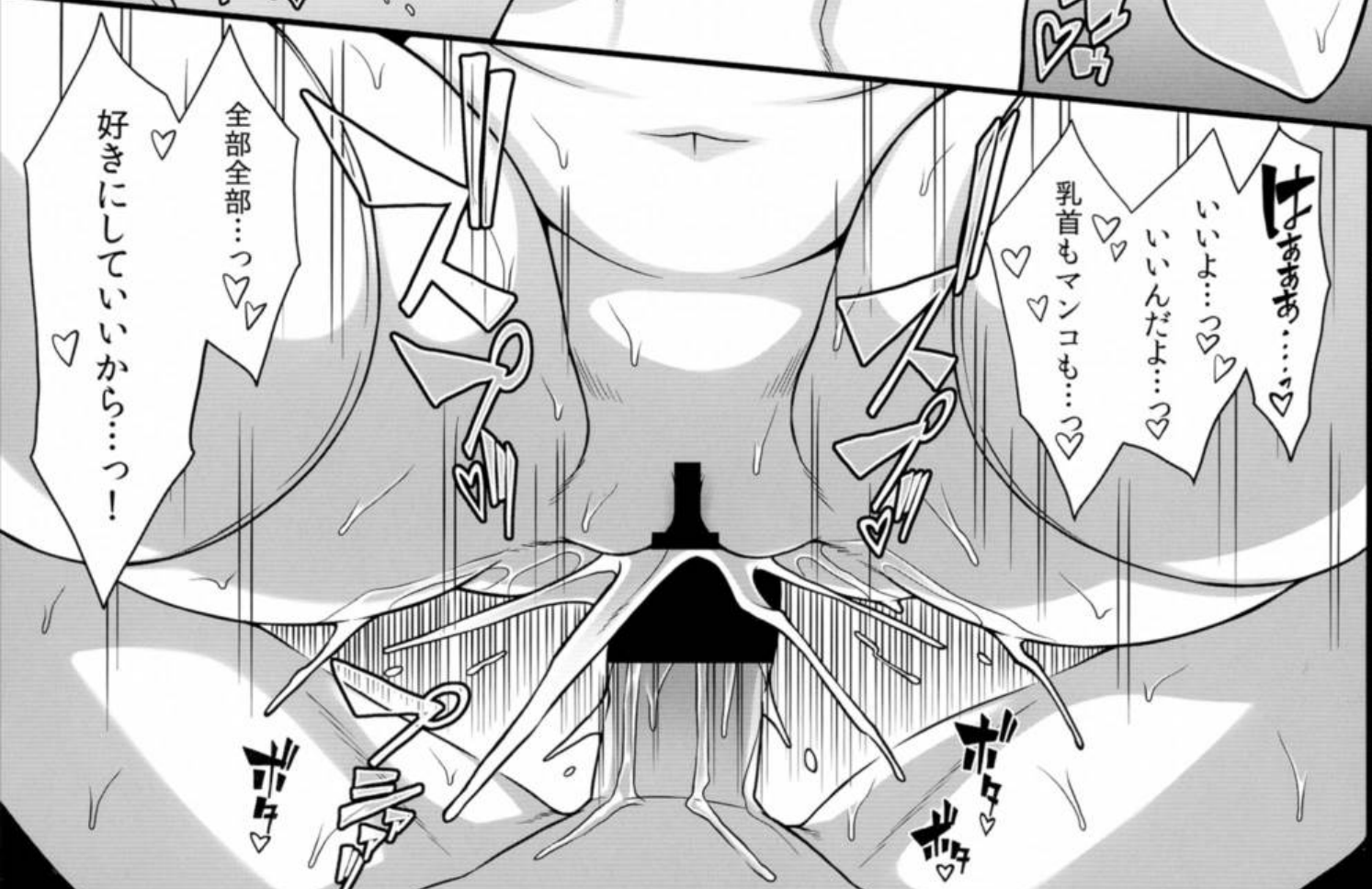
あ♡
ほめて♡

見て♡

ちゅぽん

両方勃起
させられちゃう♡

ちゅぽん♡



全部全部…♡♡♡
好きにしているから…♡♡

乳首もマンコも…♡♡♡
いいんだよ…♡♡♡
ちゅぽん…♡♡♡

ちゅぽん♡

ちゅぽん♡



ほ、ほく…
もっ…っ

いいよ…
沢山出して…♡

私が…

孕んであげる
から…っ♡

あ♡
あ♡

沢山…

沢山

ちようだい…!!

赤ちゃん
孕んであげるから…!!

私の中に…精子
沢山ちようだい…!!

いったい
どうなっておるのだ…!!



王女が突然帰国するとは…
私はなにも聞いておらぬぞ!
こちらはすでにリユート国王との
婚礼の準備を進めていたと
言うのに…!!

それにアイシスは
どこへ行ったのだ…?

王子のお守りを
していたのだから
何か知っておることが
あれば聞きたいと
言うのに…!!

まったく…
どうなっておるのだ…!!



あら？

お待ちください
女王様～！

女王様～！

お、



女王様！

女王様！

お待ち
ください！



おやおや

これはこれは
大臣殿では
ございませぬか

どうなされたのです？
血相を変えられて…

いえ… その…

女王様が突然
帰国されると
聞きまして…

我々のほうに
なにか不手際でも
あったのかと…



ええ…

いつまで経っても
乳離れできませんし…
国王陛下亡き今
いつも不安だった
のですが…

まさか親が知らぬ間に
あんなに成長しているとは…



そんな…
不手際なんて
とんでもない

リユート国王陛下には
大変よくしていただき
ましたわよ

ただ我々の王子に
変化がありましてね…

キラ

へ…？

王子様ですか？

馬車の中を
ご覧になって

まさかあの子が
自分の力だけで
あんなに素敵なお嫁さん
を見つけるなんて…

わたくしも
考えを改めさせ
られましたわ…

国の未来も
自分達で切り開いて
いこうと…

ふふ…
それにしても
若いつて素敵ですわね
あんなに
愛し合っちゃって…

それでは
失礼いたしますわ

国王陛下には
これからも良い
同盟関係をと
お伝えください

では
御機嫌よう

[HTTP://BUTAGOYA69.BLOG111.FC2.COM/](http://BUTAGOYA69.BLOG111.FC2.COM/)

MOND.KINGWI@GMAIL.COM

きょうゆう出版 様

ぶたごや

BUTA GOYA

